

第1回播磨町人権尊重まちづくり検討委員会 議事録要旨

日時：令和6年8月5日(月)10:00～

場所：播磨町役場第2庁舎 3階会議室2

司会	<開会>
町長	<p><1. 町長挨拶></p> <p>暑い中、そしてお忙しい中、本委員会にお集まりいただき、また平素から本当にお世話になり感謝申し上げます。また開催される各種イベントには、運営の方々をはじめ暑い中多くの方が集まり、いろんな形で皆さんにまちづくりにご協力いただいていること重ねて感謝申し上げます。</p> <p>今回この播磨町人権尊重まちづくり条例は、出来上がれば県下で9番目の市町になる。まだまだ県下でも人権条例を作っているところが少ない。策定することになった経緯は、平成元年に播磨町では『共に生きようふれあいのまち』宣言をしているが、インターネットでの差別事象等が増えているように差別はまだまだなくなっていない。行政が条例を作りきっちりに対応を行っていかねばならない。一部でも取りこぼしてはいけない。令和7年の3月に条例提案をする。それまでに7回会議を実施する。その間に住民意識調査、パブリックコメントをし、住民の皆さんに知っていただき、アンケート調査も行いながら条例を制定することとしている。実施計画は来年1年間かけて策定する。視察も行き、再度アンケート調査を行い、練って練って作り上げていきたい。このように人権に力を入れていきたいので今回皆さんに集まっていただき、ジェンダー等の分野でご活躍されている吉原先生にお越しいただいた。同和問題一本化でという意見もあるが、いろんな差別を含めた形で条例化を目指していきたいと諮問にも書かせていただいている。播磨町独自の素晴らしい条例を作っていただきたい。</p>
町長	<2. 委嘱状交付>
委員	<3. 自己紹介>
委員長	<4. 委員長・副委員長の選出>
町長	<5. 委員長挨拶>
	<6. 諮問>
	町長から委員長へ諮問文を手交
	<7. 協議事項>
	(1) 委員会の設置目的について(事務局より説明)
	(2) 今後の方向性について(事務局より説明)
委員	意識調査実施の宣伝はするのか。住民からいろいろと聞かれると思うので、知っておきたい。概要が分かれると皆さんにあらかじめ周知することも可能であるがどうか。

事務局	9月中にアンケート調査を発送する。町民から年代別に無作為に選んだ1,000名に発送するので南部コミセン区でも200名程度対象になると思われる。会議や問い合わせ等の中で周知していただけるのはありがたい。第3回の委員会で詳しくはお知らせできると思う。
委員	視覚障害者が対象になる可能性はあるか。対象になった場合はどういう対応をするのか。
事務局	企画課と対応を考える。
委員	この委員会の活動はホームページに載せる予定か。広報することで意識調査の依頼もしやすく実のある意識調査になるのではないか。
事務局	必ず載せるようにする。
委員	(3)住民意識調査の項目について(事務局より説明) 13ページの問5で、民生児童委員に相談する場合は6番を選択することになると思うが、具体的な名称(民生児童委員等)を入れたほうが分かりやすいのではないか。
事務局	13 ページ問 5-6「民生委員・児童委員などの公的な機関」に変更する。
委員	16 ページの問 12 の上の行で「問 11 で～と答えた方、以外の方(1～12 を回答した方)への質問」は、「問 11 で 1～12 を回答した方」の方が分かりやすいのではないか。
事務局	16 ページ問 12 等の上の行「問 11 で 1～12 と答えた方」に変更する。
委員	13 ページの問 6 の 17「災害に伴う」を前にもってきた方が分かりやすい。
事務局	13 ページ問 6-17「災害に伴う風評に基づく偏見や差別などの人権侵害」に変更する。
委員	青地に黒字は見えにくいので改善を。
事務局	改善する。

委員	13 ページの問 5 で項目 3 までに比べて 4 以降のハードルが急に高くなっている。もう少し「身近な人」の項目を追加するなどしてはどうか。
事務局	検討する。
委員	13 ページの問 6 の選択肢に「ヘイトスピーチ」関連の言葉を追加したほうがいいのかでは。
事務局	13 ページ問 6-7「外国人」に「ヘイトスピーチ」を追加する。
委員	11 ページの問 4 に「答えたくない」という選択肢が必要では。
事務局	11 ページ問 4 に 9「答えたくない」という選択肢を追加する。
委員	11 ページの問 5 にグループホーム等に入所の人の選択肢がほしい。
事務局	11 ページ問 5-11「福祉施設(グループホーム等)」を追加し、12「その他」とする。
委員長	播磨町の住民意識調査は総務省の調査をベースにするということでもいいのか。ベースをどのように使い、どういう意図をもってどこまで修正して使うのか。
事務局	8ページの総務省「人権擁護に関する世論調査」をベースにして作っていく形で提案させていただきたい。そこから播磨町なりの特徴を見い出して修正すべきところは修正して作成する。
委員	13 ページの問 6 の項目に「女性」「子ども」「高齢者」があるのに「男性」という項目がなくてもいいのか気になる。「男らしさ」で悩まれている方もいらいらしている。
事務局	必要な項目だと思う。検討する。委員長のご意見は？
委員長	問 6 の質問で「日本における人権問題について」は、テーマとして大きく感じられ、人権問題や人権侵害などの言葉は、社会全体や大きな枠組みの話になってしまって答えるのも難しいのではないかと。質問を変えたり、もう少し質問を分けるなどした方が良いのかも。問 6 の各項目に関しても開きがあり、例えば 2「子ども」は、学校や家族、家庭などいろんな立場でとらえることができ範囲が広いが、項目が後半になるほど内容が詳しく意味合いが狭いものとなっている。

委員	総務省が作った、分かりにくい言葉をそのまま使うのではなく、町民に寄り添った、もう少し柔らかい分かりやすい表現のアンケートにした方がいいのではないか。
委員	そもそも一から検討しようと思うと今日のこの時間では到底できない。その辺りはどうか。
事務局	国との比較もしたいと思っている。出た意見を反映させ、わかりやすく町民に寄り添った表現で練り直し、第2回の委員会で再度諮りたい。
委員	外国人にはこのアンケートが全然わからない。
事務局	外国人や障害者、他にも一人で回答できない人へのサポート体制を整え、10ページの「記入のお願い」にその対応についての説明文を載せる。
委員	16 ページの間 14 の質問は日本人向けであり、外国人にはわかりにくい。日本人には「見聞きしたことがあるか」でいいかもしれないが、外国人には「体験したことや身近で見聞きしたことがあるか」と分けて両方に聞いているとわかるような質問の書き方にしてほしい。日本人でも難しいと思われる日本語であり、外国人にはわからない。
事務局	参考にさせていただく。
委員長	それに関連して。委員も言われたように「日本における」よりも「日常生活の中で問題意識をもったか」という問いかけの方が現実的で答えやすい。また質問に「身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったこと」などの文言が多数出てくるが、そもそも日常生活の中で問題意識を持たなければなかなかチェックが入りにくい。苦悩している人にチェックを入れてもらい、それをアンケートに実態として出させたいのかどうか。誰に答えてほしいのか(差別を受ける側なのかどうか)を分かりやすく説明を十分に行う必要があるのではないか。
委員	話は少し違うが、播磨町で生活する中でもう少し具体的な困りごとに関する質問事項があってもいいのではないかと思う。例えば、自治会活動に関して、おかしいと感じることや参画しにくいなどの意見に対してなど。
事務局	今回出た意見は次回引き続き協議することとする。出た意見を反映させ修正したものを再度諮っていただきたい。

事務局	<p>(4) 条例の名称及び骨子案について(事務局より説明)</p> <p>①条例の名称、②骨子案については、次回の検討課題とする。各委員の皆様には、先ほどの課題と共に考えてきていただき、引き続き第2回委員会で協議いただきたい。</p>
事務局	<p><8. 事務連絡></p> <p>第2回検討委員会 8月28日(水)14時から 第2庁舎3階会議室</p>
教育長	<p><9. おわりに></p> <p>教育長挨拶</p>